

2005年5月19日

日本ミシュランタイヤが、耐摩耗性・耐久性を高めたトラック・バス用タイヤ「XZE2+」を発売

日本ミシュランタイヤ株式会社（本社：東京都千代田区、社長：ジャン＝クロード・パッツ）は、ハイウェイや中長距離走行に使用されるトラック・バス向けに耐摩耗性と耐久性を高めたタイヤ「XZE2+（エックスゼットイーツープラス）」を2005年7月1日より順次販売します。なお、価格はオープンです。

今回発売される「XZE2+」は、長距離を高速で走行する路線便のトラック、高速路線バス、観光バス向けに開発されました。これらのトラック・バスは、一行程で平均して東京-大阪間の距離に相当する約600kmを走行するといわれています。加えて、渋滞の多い日本では市街地での停止・発進の繰り返しを強いられることも多く、長距離・高速での使用に最適化しながら耐摩耗性にも配慮するタイヤが求められます。

こうしたニーズに応えるために、「XZE2+」には幅広で深い縦溝を刻んだリブパターンを基調とした新トレッドデザインと新開発のコンパウンドを採用することによって、トレッドの耐久性を高め、偏摩耗を抑制するとともにタイヤ寿命を向上させています。また、石噛み防止用ブロックを配したスペシャルグループデザインを採用し、ケーシングを保護するとともに、ケーシング自体の形状を最適化することでサイドウォールのたわみ量を抑え、異物の挟み込みや衝撃による損傷のリスクを低減させています。

日本ミシュランタイヤ株式会社 TB 事業部執行役員フィリップ・チュリは、「ミシュランは、『XZE2+』をはじめとする高性能な製品を販売するとともに、トラック・バス用タイヤのユーザー向けに『タイヤマネージメントサービス』、『ミシュランレスキューネットワーク』などのサービスを提供しています。私たちは優れた製品とサービスを通じて、トラック・バス用タイヤのお客様の安全性を高めつつ、タイヤに関わるトータル経費削減に貢献していきます」と述べています。



XZE2+

**技術説明**

- スペシャルグルーブデザイン  
(石噛み防止用ブロック)  
石噛み防止用に特別に施されたグルーブデザインが、タイヤ寿命とケーシングの保護に貢献。
- ケーシング形状の最適化  
サイドウォールのたわみ量が減り、異物の挟み込みや衝撃などによる損傷を低減。
- 新しいトレッドデザインと新コンパウンド  
幅広で深溝のトレッドデザインと新コンパウンドを採用し、トレッドの耐久性を高めてタイヤ寿命を向上。ストレート基調のリブパターン（縦溝）が偏摩耗を抑制。グルーブデザインを変更し、静粛性を向上。



**サイズラインアップ**

サイズラインアップ	荷重指数	発売日
11R22.5	148/145 L	2005年7月1日発売
12R22.5	152/148 L	2005年7月1日発売
265/70R19.5	140/138 M	2005年7月1日発売
275/70R22.5	148/145 M	2005年7月1日発売
245/70R19.5	136/134 M	2005年8月より順次発売予定
275/80R22.5	151/148 J	
295/80R22.5	153/151 J	